



富士見台

学校だより

444号

練馬区立富士見台小学校

校長 眞瀬 敦子

家庭数配布

<http://www.fujimidai-e.nerima-kyo.ed.jp/>

新聞

校長 眞瀬 敦子

11月13、14日に開催した展覧会は、お陰様で大成功のうちに終わることができました。

入口から、わくわくするような飾り付けがあったり、舞台裏に素敵なお癒やしの空間があったりと、北村先生の演出も初めてとは思えないバラエティーに富んだ楽しいものでしたが、何より子供一人一人の顔が見える展覧会であったことが、その一番の理由だったのではないかと思います。

地域・保護者の皆様からも沢山の感想を頂きましたが全てにお褒めの言葉があり、力を合わせて頑張った教職員一同、大変嬉しく読ませて頂きました。

そして一昨日。11月最後の日曜日は、私にとって、本当に久しぶりに朝から出かけなくてよい休日でしたので、遅めの朝食を取り、のんびりと心ゆくまで新聞を広げることができました。

どうも私は活字フリークの気があるようで、日々遅く帰っても、新聞を広げるのが一番の気持ちの切り替えになります。尤もいくら読まないうちにこっくりこっくり居眠りが始まって、主人に「疲れているんだから、早く寝なさいよ。」と注意されるのも常ですが。(そういえば、昔は新聞に突っ伏して寝ると、ほっぺたや腕に活字が移ってしまったものですが、いつの頃からか改良されて、新聞のインクが付くなどということもなくなりました…)

この日の一面は、久しぶりにテロや血生臭いニュースがなく、世界最高得点を挙げた羽生選手の素晴らしい笑顔が紙面を飾っていました。

各ページをざざっとチェックして、日曜版の一番の楽しみは読書のコーナー。沢山紹介されている本の中から、どこか心に“ピン”と来たものを手帳に書き写します。下の方に帯になって載っている本の宣伝も要チェック。週刊誌はここにある見出しだけで、誰がくつついたとか離れたとか、十分事足りるので、ここのチェックも重要(?)です。

そしてコラムと読者からの声。今回コラムの中に「障害者雇用」について書かれたものがあって、実は

この記事に心動かされたことから、学校便りに新聞について書きたいと思ったのです。

それは「宇佐ランタン」という、今では提灯作りではトップクラスのメーカーになった会社の、77歳になる会長、谷川忠洋さんの話でした。

奥さんと二人で家内工業から始めた提灯作り。障害者を雇用することになって、私財を投入して試行錯誤を繰り返し、彼らの力を最大限に活用できる仕組みを開発し、漸く10年後に黒字経営ができるようになったこと。でもいつの間にか「雇ってやる、仕事を教えてやる」という傲慢さがどこかに出て、従業員に「おっちゃん怖い。」と言われてしまったこと。障害者が働きやすい職場は、実は健全者にとっても楽に働ける職場で、生産性が上がったこと。

コラムは「困難な現実には、よりよいシステムを考える力の源泉です。」という谷川さんの言葉を紹介し、「一人一人に個性があり、能力も違う。それらを包み込む仕組みは、新しい価値を生み出すと信じて」という言葉で結ばれていました。

読者からの声は、「いじめは犯罪なのだから、罪と罰の教育を」というものと、「厳罰科す指導法に実効性があるのか」という正反対の投稿が並んで載っていました。こういうバランス感覚が私は好きです。

今、皆様のご家庭のどれ位が新聞を取っていらっしゃるのでしょうか。新聞社でさえ電子版を広めようと、携帯でも見られると推奨していますし、私自身も新聞よりテレビより早く、スマホで最新のニュース、重要なニュースを知るようになりました。

でも私が新聞を読むのが好きなのは、その中の膨大な情報を、画面に押しつけられるのではなく、自分に合わせて、その時の気分に合わせて、自分で選ぶことができるからではないかと思っています。そこには多くの発見があります。

富士見台小の子供たちは読書が大好きです。ページを繰る愉しさを知っている子供たちに、是非、新聞の面白さも伝えたいなあと思います。

今日から師走。まずは、ゆっくり新聞を広げられる心のゆとりをもちたいものです。

☆各学年のコーナー 4年生

4年生は、行事や学習を通して友達と関わりながら協力し合うことを大切にしてきました。4年生全体での初めての行事、遠足で自分がどんなに疲れていても、友達と励まし合って登山をしたことにより、友達と最後まで頑張るという心が育ちました。5月の運動会では体全体を使って旗を振り、演技しました。前後左右の友達と揃える難しさを実感しながらも一生懸命取り組みました。11月の展覧会では、一人一人が想像を膨らませたポイナ―動物を作りました。そして、それらを山や海などに飾り4年生で一つの動物園をつくりました。試行錯誤しながら作った子供たちは、もっとこうしたい、ああしたいと、どんどん想像を膨らませていきました。作品を作って表現していく楽しさを味わいました。友達の作品を褒め合う姿も見られました。

また、学習では、体験を通して友達と協力していきました。6月の「ふれあい環境学習」では練馬区清掃事務所の方々に来ていただいて、友達と相談してごみの分別を行うことで環境を守ることの大切さを学びました。7月の社会科見学では、清掃工場と浅草に行き、ごみの処理の様子や浅草の歴史について説明を聞きました。10月は「水道キャラバン」「地域安全マップ フィールドワーク」などと実際に見たり歩いたりして実感できる学習の時間をとることができました。友達と話し合ったり相談しあったりして学習していく楽しさも感じられました。

もうすぐ5年生になります。様々な経験を高学年に向けて生かせるような力を育てていきたいと思います。

4年担任 竹田陽介 齋藤香里 熊 璃奈

冬季マラソンの健康観察について 12/4(金)～12/24(木)

子供たちが安全にマラソンをできるように、ご家庭でも夏の水泳の時と同様に、朝の健康観察と以下の三点をよろしくお願いします。①朝食をしっかりと食べる。②十分な睡眠をとる。③体調不良の時は無理をしない。

学校でも健康観察を行います。マラソンに参加できない日は連絡帳でその旨をお知らせください。

栽培委員会紹介

正門を入ると目の前に広がる花壇があります。栽培委員会の22名の児童がお世話をしている花壇です。

日常の活動は、花壇の水やり、草取り、花の様子を見ること、栽培日誌をつけること等です。月に1回の委員会活動の時間では、栽培委員会新聞を作成して、各クラスに配布しています。その季節の花壇の様子を知らせたり、花に関するクイズを出したりと、児童が工夫して作成しています。また、花の種や苗を植えるなど、美しい花が楽しめるよう管理をしています。11月には、きれいに咲いた菊の花を、各クラスに届け、教室で楽しんでもらいました。

春から夏にかけては、雑草が伸び、草取りも大変でしたが、当番の日でなくても、進んで草取りをしてくれる児童もいてうれしく思いました。

12月はチューリップの球根を植える予定です。春になってきれいな花を咲かせ、見る人の心を癒やしてくれるステキな花壇になってほしいと思います。

担当 徳高孝子 内田道子

12月行事予定

- 1日(火)個人面談・特別時程
- 2日(水)体育朝会 一輪車・竹馬終了
教育会研究会のため午前授業
- 3日(木)個人面談・特別時程
- 4日(金)マラソン月間開始 個人面談・特別時程
- 5日(土)育成もちつき大会 6日(日)谷原音楽祭
- 7日(月)全校朝会 委員会活動
- 8日(火)個人面談・特別時程
- 9日(水)安全指導
- 10日(木)児童集会 ふじみタイム交流給食
- 11日(金)6年社会科見学 5年しめ縄作り
- 12日(土)土曜授業2時間 6年合同防災訓練参加
- 14日(月)全校朝会 クラブ活動
- 16日(水)校内研究会のため午前授業4年生のみ5時間授業
- 17日(木)音楽朝会 18日(金)避難訓練(集団下校)
- 21日(月)全校朝会 クラブ活動
- 22日(火)教員による全校読み聞かせ
- 23日(水)天皇誕生日
- 24日(木)マラソン終了
- 25日(金)全校朝会 クリーンデー
- 26日(土)～1月7日(木) 冬季休業日
12月29日～1月3日は完全機械警備(入校不可)
- 1月8日(金)全校朝会 4時間授業 給食清掃後下校
- 1月9日(土)登校指導 学校公開3時間

12月生活目標

たす あ しごと
助け合って仕事をしましょう。